

議 長	
確認印	

総務文教常任委員・経済厚生常任委員会連合審査会会議録

1 日 時	開会 平成 27 年 6 月 11 日 14 : 10 閉会 平成 27 年 6 月 11 日 14 : 46
2 場 所	委員会室
3 出席委員	(総務) 藤田高志、鈴木茂、鈴木孝則、鈴木幸江、大縄武夫、小林達信、鈴木道男 (経済) 吉田克則、鈴木安次、小峰由久、小貫初枝、割貝寿一、藤田一男、藤田恵二
4 欠席委員	なし
5 出席要求者	参考人：(株) 埴町振興公社 支配人 鈴木清文
6 職務出席者	議会事務局長、書記
7 説明員	なし
8 付議事件	第 1 (株) 埴町振興公社の経営状況と指定管理状況
9 議事の経過	<p>割貝委員長：開会</p> <p>小林委員長：あいさつ</p> <p>連合審査会ということで両委員会合同で調査を行う。主たる委員会が総務なので進行させていただく。振興公社の支配人に参考人として出席いただいているが、経営状況等についてお聞かせいただきたい。</p> <p>小林委員長：議案書に経営状況報告書があるがそれに沿って支配人に説明していただく。</p> <p>参考人：事業報告を説明する。業績を表にまとめている。26年度売り上げ実績は昨年度より減している。目標の86%にとどまった。経費についても売り上げの減にともない減額している。道の駅管理によるものが大きい。利益では、当期純利益が2,447千円となって黒字となった。ただし、営業利益は36,916千円の赤字で、東電の補償金で黒字になったところである。実施した事業は資料のとおり(省略)</p> <p>小林委員長：質疑はあるか。</p> <p>鈴木(茂)委員：経営方針等町との打ち合わせ回数は。</p> <p>参考人：事業のつど相談している。決まってはいない。</p> <p>小峰委員：改善点をどのようにとらえているか。</p> <p>参考人：経費及び接客マナー、料理の品質向上及びPRである。</p> <p>小峰委員：多岐にわたって改善しなければならないと思うが、料理がひどいという話をよく聞く。</p> <p>参考人：改善に努めている。根本的にかえるのは困難。少しずつ変えていくことを検討している。</p> <p>小峰委員：料理そのものだけでなく盛り付けの工夫が必要と思うが。見た目も料理である。宿泊料のうち料理はどのくらいか。</p> <p>参考人：約50%である。夕食は4,230円、朝食は1,080円である。宿泊者アンケートでは料</p>

理についてよかったという意見がある。リピーターに対しては料理を変えるようにしている。

鈴木（孝）委員：PR についてであるが SNS を使っているのか。

参考人：実施していない。

鈴木（孝）委員：HP よりも SNS の方が有効である。

参考人：検討したい。

大縄委員：東京電力の賠償金はいつまで続くとみているか。

参考人：実際どのくらいになるかは不明確。推移を見守っていききたい。

大縄委員：原発事故前まではある程度売り上げはあったと認識してよいのか。

参考人：現在より実績はあったと考える。

鈴木（茂）委員：黒字になったので器を買い替えると聞いた。先日八幡屋に行ったが器が素晴らしかった。参考にするとよい。

参考人：料理長からの要望があった。他の事業所を参考に吟味したい。

小峰委員：古民家の活用を進めるべき。ダリア園で食事ができればよいのでは。

参考人：カフェを実施した。カフェにこだわっているわけではない。ダリア園が完成すれば売店などを考えている。昼食などは許認可を得るのが難しい状況である。

藤田（高）委員：首都圏からの集客において防災協定などの効果は。

参考人：町と交流している自治体などに振興公社も一緒に PR している。当施設は練馬区民の保養施設になっている。18 団体 570 名の集客があった。また、各種団体として光ヶ丘連合協議会の皆さんがリピーターとして来てもらっている。人数等の集計はしていないがそのような働きかけをしている。

藤田（高）委員：数字的押さえは必要である。提案であるが、大型バイクの観光客が土日相当国道を通っている。PR をすれば取り込めるのではないか。東京へアプローチするよりはまず来ている人たちをつかむ必要があると思う。

参考人：道の駅にはパンフレット、割引券などをおいて観光協会を窓口で PR している。

藤田（高）委員：それは分かるが、そのような方々（ライダー）がパンフレットを持ってきているかどうか、どう見ているか。

参考人：バイクで来る方が昨年より増えていると思う。若い年齢層の方が昨年より増えていると思う。

藤田（高）委員：パンフレットや優待券を直接渡すことがあれば客が増えるのではないか。

参考人：前向きに検討したい。

藤田（一）委員：経費のうち一番何を削減すればよいと思うか。

参考人：燃料費、車両費、修繕費である。

藤田（一）委員：人件費ではないか。

鈴木（幸）委員：改善点が見えない。来てよかったという声が聞こえない。

藤田（高）委員：都会から来た人に刺身はどうか。地元でしか食べられないものがほしいのではないか。

参考人：よく話題になるが実際にはなくすわけにはいかないとなっている。

鈴木（孝）委員：食材の経費を抑えるためには地元でこだわらずやるなど、工夫が必要ではな

いか。

参考人：さまざまなルートを探っていきたい。

小林委員長：そのほか質疑はあるか。

小林委員長：質疑を終了する。今回は、質疑までとして議事を終わる。

割員委員長：閉会

埴町議会委員会条例の第 27 条の規定により署名する。

平成 年 月 日

総務文教常任委員会 委員長